

「大田の工匠 NTG」に 初の女性技術者が誕生！

平成25年度「大田の工匠 Next Generation (NTG)」13名
の一人に選ばれた大洋塗料株式会社
の神山麻子さんにお話を伺いました。

神山さんは、塗料の水酸化（溶媒として有機溶剤を使わず水を主成分に使うことで環境に配慮した）を促進するという会社の方針に従い、技術グループを率いるマネージャーとして数多くの製品開発に取り組んでいます。

この会社に決められた理由を
教えてください

私は化学を専攻していたので、できれば実験にたずさわられるような仕事につきたいと思っていました。20年くらい前だと、女性の技術職は採用していないと、多くの企業で門前払いを受けることがありました。

でも、今の会社は、技術職としてやりたい仕事にたずさわれるのと、ここでしたので、入社を決めました。

芝浦工業大学卒業後、技術者として大洋塗料株式会社入社20年。現在、技術部部長。塗料の水酸化を促進、数多くの製品開発に取り組んでいる。水系塗料「マスキングカラー」は、2012年第1回東京ビジネスデザインアワードテーマ賞を受賞。夫と娘2人の4人家族。

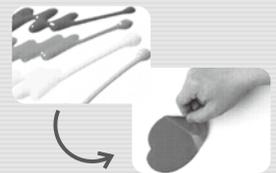


Profile
かみやま まこ
神山麻子さん

弊社の創業者は、日本の塗料業界のなかでは草分け的な存在でした。戦後いち早

水系塗料 マスキングカラー

従来の塗料の概念を完全に逆転させた“はがせる”水性塗料です。好きな所に描いて、はがして、再度貼り直すことができるため従来の塗料にはなかった色々な可能性が生まれます。



く、日本は工業立国としてやっていかねばという志をもって、アメリカに勉強に渡るくらいの人でした。とにかく新しい物が好きなので、普通では考えられないことも抵抗なく受け入れる精神がありました。それは今も受け継がれていると思います。

また先代の社長も「これからは女性の時代だから積極的に女性を採用しましょう」と言っておりました。そして女性を採用するからには、いつか結婚、出産という時が来ることも承知してくれていたようです。

子育てしながら働く環境になり、
何か変化はありましたか？

出産・育児の時期が来たら必要な制度を利用していけばよい、という会社

全体の理解と応援がありましたので、2度の出産で一年ずつ育児を取るのも問題はありませんでした。また、育児中の私の仕事は上司にお願いし、快く受け入れてもらえました。

職場に復帰後は、私自身の仕事への意識が変わりましたね。それは「仕事に優先順位をつけること」と「決断力が付いたこと」です。全部自分でやるうとしたらとてもじゃないけれどもできないので、この仕事は今やるのが良いか後でもよいかとか、また自分がやるべきかどうか考えて、他の人でもできる場合は躊躇なく振り分けてお願いしています。子どもの保育園の送りや、熱などでいつ呼び出されるかわからないので時間を気にするようになり、やれることはその時にやってしまおう！というふうな時間の使い方もうまくなったと思います。